



五中だより

自主
協力
創造

令和7年1月23日 発行
新潟市立新津第五中学校

「あいさつの五中！」 「合唱の五中！」 「チャレンジの五中！」

令和6年12月24日（火）冬休み前全校朝会 校長講話

校長 松嶋 一

まず、令和7年度以降の部活動について話をします。新潟市では、令和8年4月から、学校の部活動の地域移行・地域展開の方針に基づき、部活動としての活動は、平日16:45まで、休日は実施しないことを決定しています。

これを受けて、新津第五中学校では、令和7年度はこれまで同様に活動を継続します。令和8年度以降は方針通り、平日16:45までの活動を継続することになっています。新入生の募集も行いますし、部活動が無くなるわけではないことを理解しておいてください。そして、地域クラブとしての活動団体が立ち上がり、皆さんが参加できる環境が整ってきた際には、平日16:45以降や休日、地域クラブでの活動も可能になる可能性があります。また、地域クラブでの活動を希望する人は、学校の部活動には入部せず、そのクラブで活動することは差し支えありません。学校の部活動、地域クラブの両方に所属し、活動するということもあるかもしれません。各自の選択肢が増えるということでもあります。今後も、新たな情報があれば皆さんにお伝えしていきます。

さて、令和6年は、新潟市も大きな被害に見舞われた能登半島地震でスタートしました。突然、私たちに襲いかかってくる自然災害の恐怖を感じたことを思い出します。

今もなお、被害に遭われた方々が不自由な生活を送っていらっしゃることを考えると、あらためて、当たり前のように日常の生活を送ることができることに感謝しながら、日々を大切に生きなければならないと強く感じています。

さて、一年の世相を表す今年の漢字に「金」の文字が選ばれました。パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが数多くの金メダルを獲得したことや佐渡島の金山が世界文化遺産に登録されたこと、政治とお金の問題、新紙幣の発行、物価高騰などが選ばれた理由とされています。あなたにとっての今年一年を表す漢字一文字は、何でしょう。

令和7年、特に4月からは、皆さん一人一人にとって、新たな環境のもとで、新たな仲間との出会いでスタートする一年にもなります。来年の今頃、「いい一年だったなあ。」と感じられるような一年になっていることを願います。充実した冬休みを過ごして、また年明けに元気な姿を見せてください。

令和7年1月7日（火）冬休み明け全校朝会 校長講話

校長 松嶋 一

令和7年が穏やかにスタートしました。年が明け、一週間がたちました。

「新年の誓い」は立てましたか。「抱負」や「決意」を考えましたか。

～たらいいな。～したい。～になりたい。というような願望や希望を表すようなものではなく、～になる。～する。ときっぱりと言い切るような、断言するようなものであるべきだと思います。

偉業を成し遂げた人やスポーツの世界で結果を出した人たちは、小さい頃から、「オリンピックに出て金メダルを獲る！」というように断言しています。「出たいです。」や「メダルを獲りたいです。」ではないのです。

はっきりとした目標があり、強い意志を持ち、達成に向けたプランと実際の行動があるからこそ成し遂げられるものなのではないでしょうか。

思っていないことは実現させるのは難しいと常々思っています。例えば、「県大会に出場する。」という目標を掲げた選手やチームが、その県大会で勝ち上がり、北信越大会や全国大会に出場することはまずないでしょう。私自身のこれまでの経験からもそのように感じています。

さて、年が明けた今こそ、自分なりの目標や誓いを立て、断言し、挑戦し続ける一年にしていきたいと思います。

【原田哲男 様 石碑モニュメント設置セレモニー】

新津第五中学校10回生卒業の彫刻家である原田哲男 様（令和6年11月23日にフランスにてご逝去されました。）から、創立70周年記念事業に関わり、石碑の彫刻モニュメントを贈呈していただきました。石碑モニュメント完成に関わり、先輩方の偉大さと感謝の意を表す会として、12月16日（月）に「石碑モニュメント設置セレモニー」を実施しました。

石碑モニュメント設置セレモニーでは、設置に向けてご尽力いただいた皆様をご来賓としてお迎えしました。特に、原田哲男 様の同期で、今回の石碑モニュメント設置に向けて多大なご協力をいただいた赤塚陽一 様からは、プレゼンテーションソフトを用いて原田哲男 様についてご紹介をいただきました。



〔赤塚陽一 様から全校生徒へメッセージ〕

1 やりたい事は声に出して、色々と行動してみる。

そうすると、不思議に協力者が現れて、皆の力で実現できる。

⇒原田作品が出身校である第二小学校や五中に無い事を言い続けていたら、実現できた。

⇒五中の作品は、東京に居る原田氏のお姉さんの庭にあったものを仲間と運んだものです。

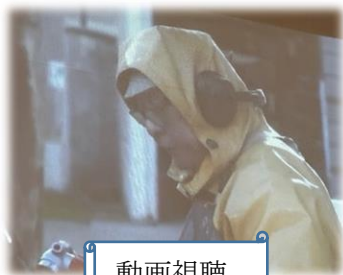
2 夢をもって、それを書き出し、口に出すと実現できる。

今回設置した原田作品は、原田氏がパリに行く前に作った作品です。

他の原田作品と作風が全く違いますが、若い夢をもったころの作品で、エネルギーに溢れています。

是非、原田作品を見て、その手で触って、エネルギーを感じて、自分の夢の実現を果たしてください。

原田哲男 様の紹介後、原田哲男 様の作品製作に関わる動画視聴を行い、その後、同窓会長 佐藤重勝 様よりご挨拶をいただきました。（同窓会からモニュメントの台座をご寄付いただきました。）



動画視聴



同窓会長 佐藤 様ご挨拶



生徒会長 お礼の言葉

【原田哲男 様 石碑モニュメント 作品名「コンポジション」】

生徒玄関前、通称「五中ハワイ」に設置しております。ご来校の際は、是非、ご覧ください。



